



## いきいき集会 ～給食委員会～

今日26日(木)のいきいき集会は、給食委員会が発表しました。給食委員会の常時活動は、次の日の献立を書いたり残飯チェックをしたり食器の片付けをしたりして、学校の食に関する活動を支えています。給食委員の願いとして牛乳のかごの返却の仕方やパンへのジャムのぬり方、パンの袋・納豆パックの片付け方などクイズ形式で楽しくルールを学ぶことができました。

他にも給食の先生方から、4つの困っていることを教えてもらいました。それは、①お茶碗にご飯粒がたくさんついてかえってくること ②お箸の向きが揃ってなかったりスプーンが曲がってかえって来たりすること ③食器や残食を13時15分までにはかえして欲しいということ ④ストローの袋やのりを必ず外してから出して欲しいということでした。

また、もう一度食べたい給食アンケートでは、1位:あげパン 2位:手作りゼリー 同率2位:カレーライス 4位:かみかみチーズサラダの順番でした。

感想交流では、1年生の子供は「👹 帯西レッドの心を感じました。それは、今までパンの袋を結べなかったけど、結び方を教えてくれたから結んでみたいと思ったからです。」、3年生の子供は「👹 帯西イエローの心を感じました。それは、みんなのために(給食委員の人は)給食の先生方と給食の食器を協力して片付けているからです。」、5年生の子供は「👹 帯西イエローの心を感じました。それは、今まで何も考えずに食べたり片付けたりしていたけど、発表を聞いてジャムを少しずつパンにぬったり、米粒を一粒も残さず食べたりしようと思ったからです。」と感想を述べました。それに対して給食委員長は「皆さんが給食を残さずしっかり食べてくれると嬉しいです。」と応えていました。この集会を通して、子供たちの食への意識が高まったと思います。給食委員会の皆さん、ありがとうございました。



## 新型コロナへのお願い

政府は新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけを「5類」に引き下げることが今週正式決定する方向で最終調整しているようです。引き下げられると、都道府県による感染者への入院勧告ができなくなるほか、濃厚接触者などへの自宅待機の措置もなくなります。懸念されるのが、14日(土)に一日の死者数が500人を超えていることなど、感染したら命を落とす危険性があるということです。

また、本校でもコロナへの感染者は微増を続けています。家族内で風邪症状があるにも関わらず登校してくる子供もいます。その子供がコロナ陽性となり、学級閉鎖になった事例もあります。学校としましても、ウイルスを持ち込ませない、学校内での感染を未然に防ぐための最大の注意を払っていきます。そのためには、まだまだ、保護者の皆様にはご理解を頂き、今しばらく、ご協力をよろしくお願い致します。